

中小企業景況調査報告書

2023年度第1・四半期（4～6月）

浅野公園



一宮市観光協会提供

目次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移 前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（99社）	5
景況の推移業種別集計表 前期比	6
「直面している経営上の問題点」の集計表（業種別上位3位）	7
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	8～10
前年同期比のグラフ（各項目）	11～14

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- III. 調査の実施
(方 法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- IV. 調査対象企業数 99事業所
- V. 調査対象企業
の業種 次の表のとおり

景況調査対象事業所（99）の内訳

業 種	事業所数
建設業	12
製造業	30
卸売業	10
小売業	18
サービス業	29
合 計	99

- VI. その他の分析
1. 設備投資 実施状況数
2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算
- | | |
|----|-------|
| 1位 | 3ポイント |
| 2位 | 2ポイント |
| 3位 | 1ポイント |

今 期 の 概 況

景況感はやや悪化。但し、先行きは改善の見通しも。

1. 前年同期比D I 値の分析

今期(表1参照)は、従業員のDI値で前期実績を上回り、業況、売上、採算、資金繰りのDI値で前期実績を下回った。

来期は、業況、採算、資金繰り、従業員のDI値で今期実績を上回り、売上のDI値で今期実績を下回る見通し。

指標別の状況

- 業況DI値は、前期実績▲5.0から▲11.1(6.1ポイント減)となり、来期は▲7.1(4.0ポイント増)となる見通し。
- 売上DI値は、前期実績16.0から10.1(5.9ポイント減)となり、来期は9.1(1.0ポイント減)となる見通し。
- 採算DI値は、前期実績▲27.0から▲27.3(0.3ポイント減)となり、来期は▲12.1(15.2ポイント増)となる見通し。
- 資金繰りDI値は、前期実績▲15.0から▲15.2(0.2ポイント減)となり、来期は▲8.1(7.1ポイント増)となる見通し。
- 従業員DI値は、前期実績▲9.0から1.0(10.0ポイント増)となり、来期は5.1(4.1ポイント増)となる見通し。

2. 前期比D I 値の分析

今期(表4、5参照)は、売上のDI値で前期実績を上回り、業況、資金繰りのDI値で前期実績を下回った。

指標別の状況

- 業況DI値は、前期実績▲10.0から▲10.1(0.1ポイント減)となった。
- 売上DI値は、前期実績▲8.0から14.1(22.1ポイント増)となった。
- 資金繰りDI値は、前期実績▲10.0から▲14.1(4.1ポイント減)となった。

3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(38件、27事業所)に比べ、件数、事業所数ともに減少している。

- ① 今期の実績(表3参照)は36件(25事業所)。その主な内訳は、『生産設備』13件、『OA機器』6件、『工場建物』5件となっている。
- ② 来期の計画(表3参照)は26件(18事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』『OA機器』各8件、『車両・運搬具』4件、『工場建物』『その他』各2件となっている。

4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表6参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『仕入等単価の上昇』、『販売等単価の低下・上昇難』、『需要の停滞』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A社（繊維製造業〈インテリア織物〉）

3月4月は大型受注があったが、5月に入り大幅に受注が減った。新型コロナウイルス感染症は一段落したものの売上は戻ってきていない。今後はインバウンド需要が増え、顧客の一つであるホテルからの受注増は見込めそうだが、本格的な回復は来年以降であると思われる。

B社（製造業〈菓子製造〉）

原材料等の値上げこそ一段落しているが、電気・ガス料金は大幅に上昇しており経営を圧迫している。業界はM&Aによる資本提携などが活発になってきており、資本力のない中小・小規模企業を取り巻く環境はさらに厳しくなっている。消費者の意識も大きく変わっており、新規の販路開拓を進めていかないと業績は上向かない。

C社（建設業〈屋根工事〉）

コロナ禍で外注先が減少した結果、新築住宅（屋根工事）の受注工事が減り売上が下がった。施主様からの受注は増えているため、一刻も早く外注先を確保したい。

D社（卸売業〈染料卸売〉）

原材料の価格高騰によって得意先の企業体力が奪われており、先行きは不透明。社会経済活動の正常化で需要が増加する可能性はあるが、人手不足から得意先の仕事が回らない可能性があるなど、すぐに好転するようには思えない。

E社（小売業〈家具小売〉）

商品価格は円安の影響で2~3割程値上げしたが、影響は殆どない。それよりもコロナ感染法上の分類が5類へ移行したことで社会活動が活発となり、家具よりもレジャーや観光にお金を消費する流れに変わってきており需要の停滞を感じる。

F社（サービス業〈ガソリン・石油販売〉）

石油業界は大変厳しい環境で、カーボンニュートラルの影響で石油販売・ガソリンスタンドは減少すると考えられる。コロナ感染症の影響が薄れ、社会・経済活動が正常化されてきてもそれほど売上増加には至っていない。

G社（サービス業〈学習塾〉）

オンラインでの指導希望は無くなっており、業界全体で以前の対面指導に戻っている。少子化で厳しい中において、大手学習塾は新規募集を活発に行っているため当教室の新規生徒の確保は難しい状況にある。

景況の推移

表 1

～ 前年同期比～

	R4. 4～6月	R4. 7～9月	R4. 10～12月	R5. 1～3月	今 期 R5. 4～6月	来期の見通し R5. 7～9月
業 況	▲14.0	▲13.3	▲ 4.0	▲ 5.0	▲11.1	▲ 7.1
売 上	21.0	0.0	12.0	16.0	10.1	9.1
採 算	▲30.0	▲42.9	▲25.0	▲27.0	▲27.3	▲12.1
資金繰り	▲13.0	▲17.3	▲21.0	▲15.0	▲15.2	▲ 8.1
従 業 員	▲ 6.0	▲13.3	▲12.0	▲ 9.0	1.0	5.1

業種別集計表 ～ 前年同期比 ～

表 2

	事業所数	12	30	10	18	29	99	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	1 (1)	4 (4)	1 (1)	3 (3)	6 (6)	15 (15)	▲ 11.1 (▲7.1)
	不変	9 (9)	18 (18)	6 (7)	9 (10)	16 (18)	58 (62)	
	悪化	2 (2)	8 (8)	3 (2)	6 (5)	7 (5)	26 (22)	
売上	増加	7 (4)	10 (9)	3 (2)	6 (5)	12 (10)	38 (30)	10.1 (9.1)
	不変	2 (6)	12 (14)	4 (6)	7 (8)	8 (14)	33 (48)	
	減少	3 (2)	8 (7)	3 (2)	5 (5)	9 (5)	28 (21)	
採算	好転	2 (1)	3 (4)	0 (0)	3 (2)	3 (6)	11 (13)	▲ 27.3 (▲12.1)
	不変	6 (10)	14 (18)	7 (8)	9 (11)	14 (14)	50 (61)	
	悪化	4 (1)	13 (8)	3 (2)	6 (5)	12 (9)	38 (25)	
資金繰り	好転	2 (0)	0 (3)	0 (0)	2 (1)	1 (2)	5 (6)	▲ 15.2 (▲8.1)
	不変	8 (12)	20 (21)	9 (9)	12 (13)	25 (24)	74 (79)	
	悪化	2 (0)	10 (6)	1 (1)	4 (4)	3 (3)	20 (14)	
従業員	増加	1 (1)	7 (6)	0 (2)	0 (0)	3 (4)	11 (13)	1.0 (5.1)
	不変	10 (11)	21 (22)	9 (8)	16 (17)	22 (20)	78 (78)	
	減少	1 (0)	2 (2)	1 (0)	2 (1)	4 (5)	10 (8)	

※ 採算は経常利益で判断

※ () 内は来期

新規設備投資集計表

表 3

設備投資	今期	実施した ※1	25	来期	計画している ※2	18
	(事業所数)	実施していない	74	(事業所数)	計画していない	81

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	0 件	1 件	5. 付帯施設	3 件	1 件
2. 工場建物	5 件	2 件	6. O A 機器	6 件	8 件
3. 生産設備	13 件	8 件	7. 福利厚生施設	1 件	0 件
4. 車両・運搬具	4 件	4 件	8. その他	4 件	2 件
			合計	36 件	26 件

複数回答可

景況の推移

表 4

～ 前 期 比 ～

	R4.4～6月	R4.7～9月	R4.10～12月	R5.1～3月	今 期 R5.4～6月
業 況	▲18.0	▲21.4	▲ 9.0	▲10.0	▲10.1
売 上	13.0	▲13.3	5.0	▲ 8.0	14.1
資金繰り	▲ 9.0	▲14.3	▲16.0	▲10.0	▲14.1

業種別集計表

表 5

～ 前 期 比 ～

	事業所数	12	30	10	18	29	99	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	1	3	0	2	10	16	▲ 10.1
	不 変	9	18	7	9	14	57	
	悪 化	2	9	3	7	5	26	
売 上	増 加	3	14	3	6	13	39	14.1
	不 変	8	7	3	7	10	35	
	減 少	1	9	4	5	6	25	
資 金 繰 り	好 転	1	0	0	0	1	2	▲ 14.1
	不 変	9	24	9	14	25	81	
	悪 化	2	6	1	4	3	16	

『直面している経営上の問題点』の集計表

表 6

(業種別上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○材料価格の上昇	○従業員の確保難	○請負単価の低下・ 上昇難
製造業	○原材料価格の上昇	○原材料費・人件費 以外の経費の増加 ○製品(加工)単価の 低下・上昇難	○人件費の増加
卸売業	○需要の停滞	○仕入単価の上昇	○人件費以外の 経費の増加
小売業	○仕入単価の上昇	○販売単価の低下・ 上昇難	○消費者ニーズの 変化への対応
サービス業	○材料等仕入単価の 上昇	○人件費以外の 経費の増加	○利用者ニーズの 変化への対応

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	23
材料の入手難	2
人件費の増加	4
材料費・人件費以外の経費の増加	5
請負単価の低下・上昇難	8
下請単価の上昇	3
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	16
熟練技術者の確保難	2
下請業者の確保難	1
官公需要の停滞	1
民間需要の停滞	3
その他	0
合 計	68

製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	9
生産設備の不足・老朽化	16
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	48
原材料の不足	5
人件費の増加	17
原材料費・人件費以外の経費の増加	23
製品(加工)単価の低下・上昇難	23
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	5
従業員の確保難	9
熟練技術者の確保難	5
需要の停滞	12
その他 (協力会社の倒産・廃業)	1
合 計	173

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
メーカーの進出による競争の激化	0
小売業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	4
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	7
販売単価の低下・上昇難	4
仕入単価の上昇	8
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	3
需要の停滞	13
その他 (加工所不足)	1
合 計	43

小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	2
同業者の進出	3
購買力の他地域への流出	0
消費者ニーズの変化への対応	11
店舗の狭隘・老朽化	5
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	1
人件費の増加	5
人件費以外の経費の増加	10
販売単価の低下・上昇難	12
仕入単価の上昇	30
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	3
需要の停滞	8
その他 (ネット通販)	3
合 計	96

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	2
新規参入業者の増加	1
利用者ニーズの変化への対応	24
店舗施設の狭隘・老朽化	8
人件費の増加	20
人件費以外の経費の増加	26
利用料金の低下・上昇難	14
材料等仕入単価の上昇	32
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	20
熟練技術者の確保難	4
需要の停滞	15
その他	0
合 計	169

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -

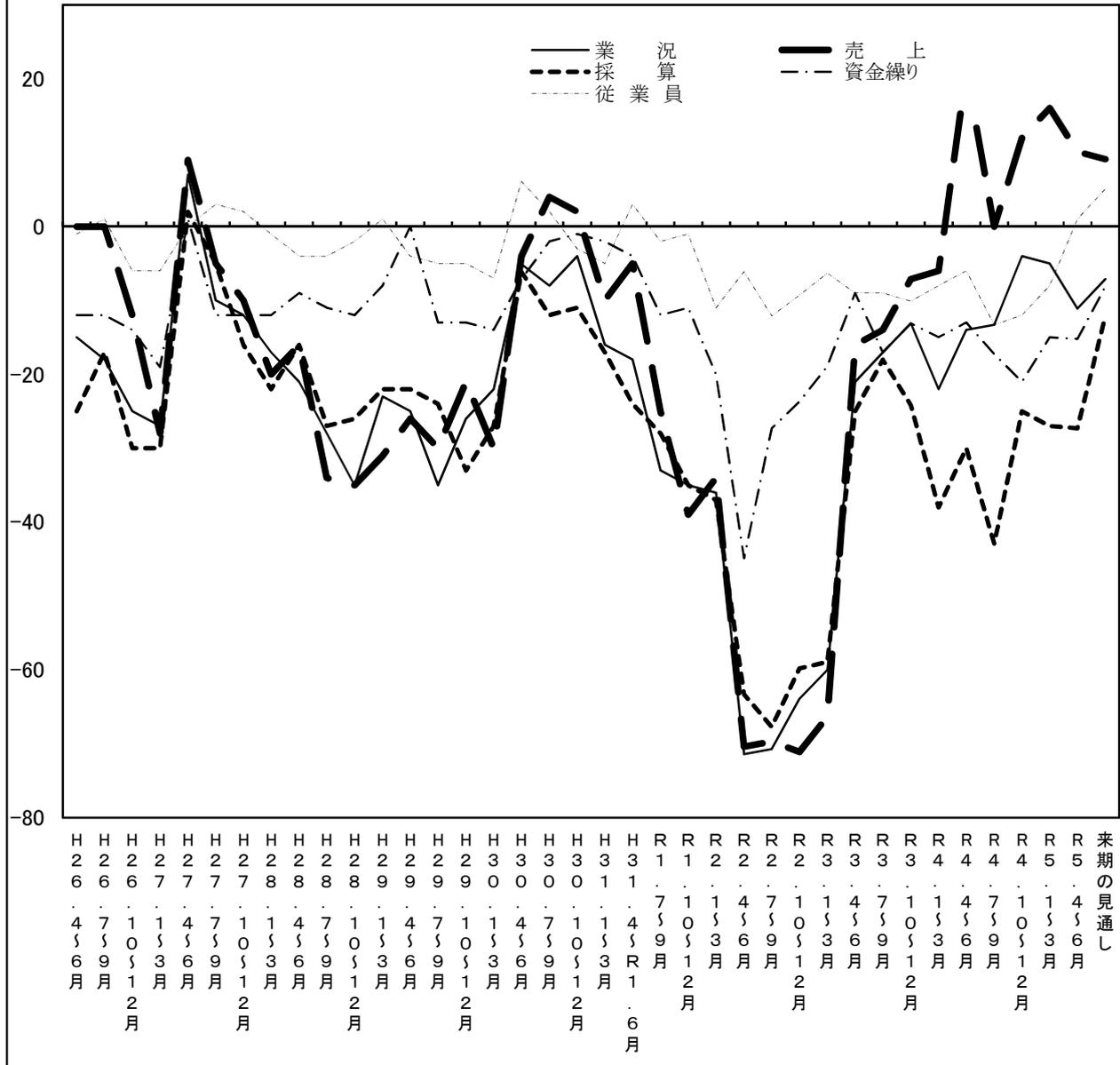


図 2

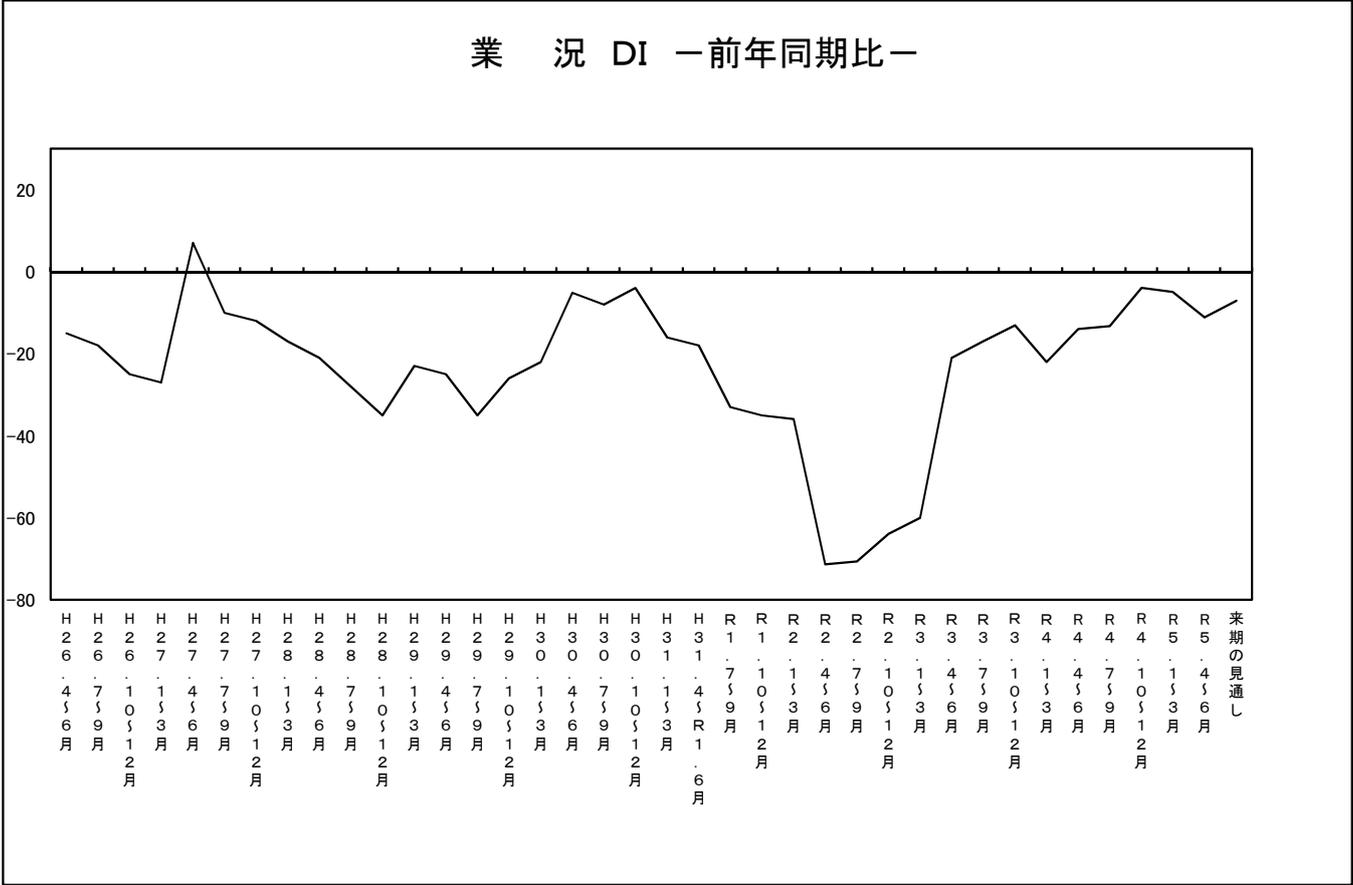
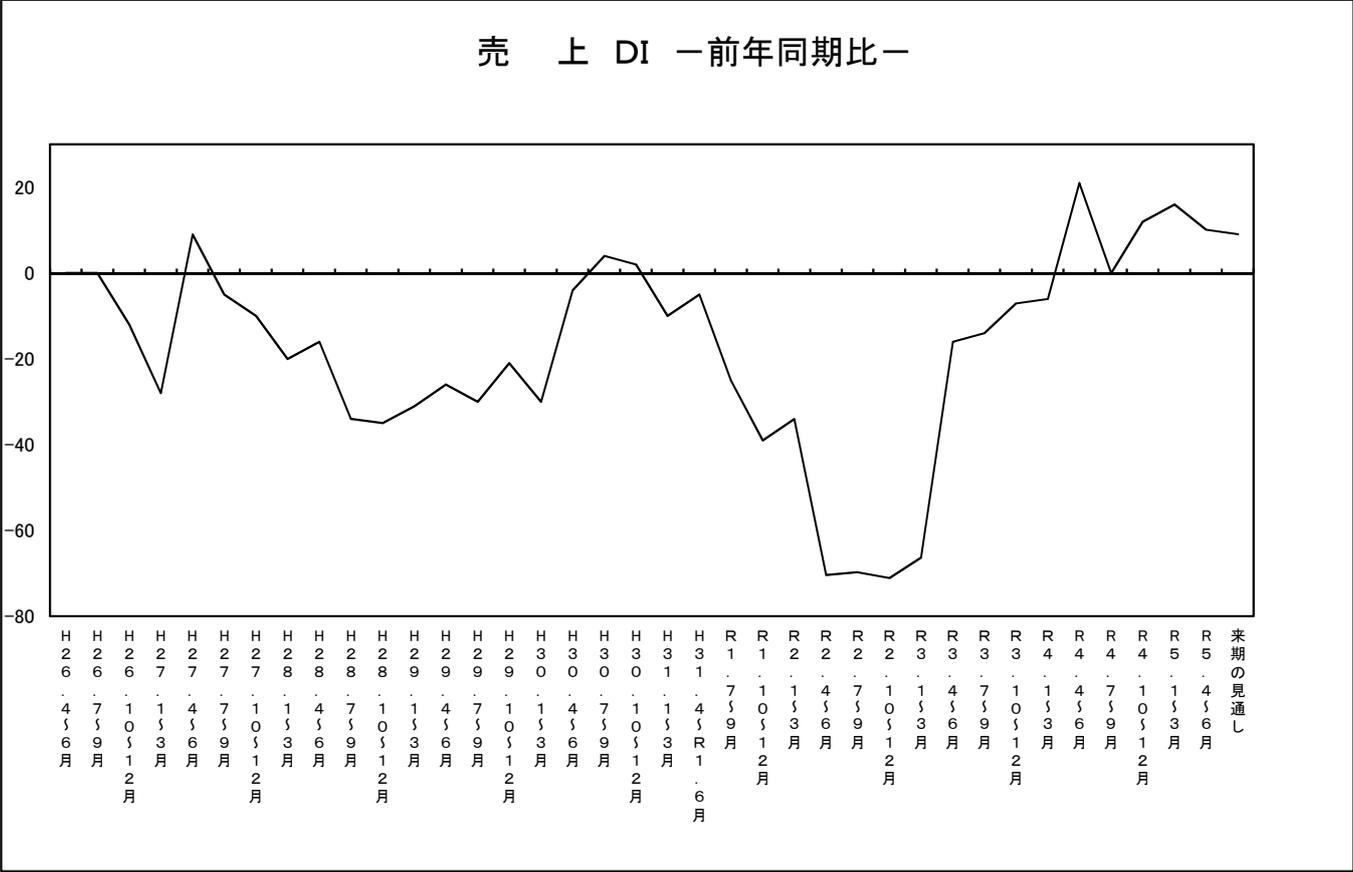
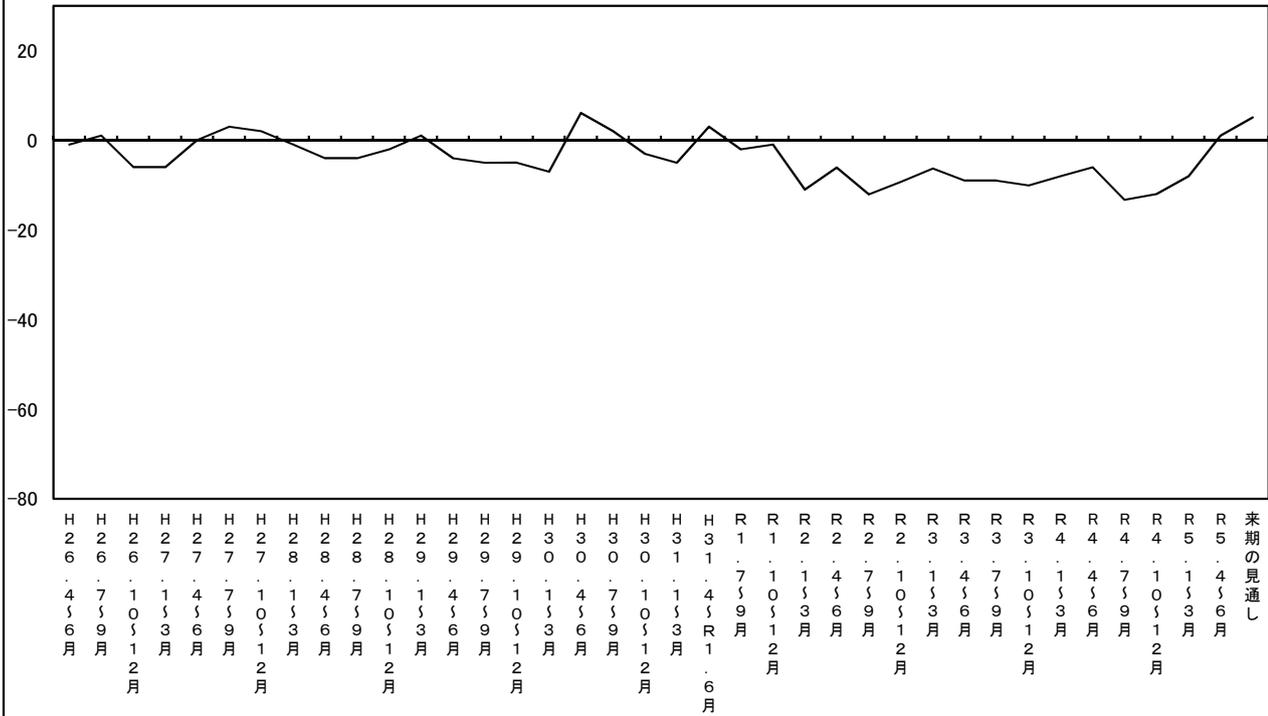


図 3



従業員 DI - 前年同期比 -





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目6番8号 (〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp